

# 神の教会

第264号  
2010年 夏号



日本神の教会連盟  
CHURCH OF GOD JAPAN

## 新し 広がる祝福 の可能性

沖繩ゴスペルファミリーチャーチ牧師

金城 信一郎

「あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ。」  
イザヤ 54:2

右記のイスラエルの回復の預言から、現代の私たちへの「新しい祝福と広がる可能性」の約束と励ましを感じます。この御言葉は「現状に合わせて天幕や住まいを造ってはならない、神が多くの子どもたちを与えると約束したのでからその時の事を幻に描いて住まいを広くせよ、神の大きいなる祝福を盛るのにふさわしい器を用意せよ」と言うのです。今は見る影もない小さな存在にすぎないユダの人たちに対して、神は途方もないような大きな約束を与えられたのです。現状からは到底思い及ばない新しい祝福の約束です。現状に捕われている時に「信じる」という事は難しいことです。しかし聖書を見ると、神の祝福の約束はいつも現実からはまったく信じられないような

ものばかりです。私たちは御言葉による神の祝福と大いなる可能性をなかなか本気で受け取ろうとしません。現実には何一つとしてその約束の成就を裏付ける原因が見つけれられないからです。しかし創造主なる神の天地創造の原因が在って生起したのではなく、**神のことばに拠ったのです。** 私たちも神の御言葉の約束を信じ、御言葉に捕らえられ、御言葉に生かされた歩みを真実に忠実に誠実に生きたいものです。よく「継続は力なり」と言われますが、実は継続は大変疲れるものです。しかし、その疲れが力となるのです。継続には、悩みや問題、精神的な重荷、時には経済的負担も伴うでしょう。しかしそれらが力となるのです。そして、そのす



● マンゴーの世話をする金城師

● 教会敷地の草刈隊員に  
メエ〜じられてます



べてを支えられるのが私たちの救い主イエス・キリストです。  
今年、私に示されたビジョンが3つあります。一つは今まで有名無実だったモーセファミリー(壮年部活動)を毎月継続する事です。二つ目は、新しく「南部朝教会」を立ち上げる事です。最後に三つ目、主が許されるならば、今後新たな開拓伝道をと願っています。  
神の御言葉は数千年前のユダヤ人に語られた預言であると同時に、今日の私たち一人一人に対する生きた神の御言葉ですから、生きた信仰を持つて聴いて受け止め、従っていきたいものです。たとえ現実がどうであろうとも神様の約束を信じ委ねて従っていく時に、私たちは御言葉の約束の真実さを体験するのです。そこに、キリスト者として世に勝つ勝利の道がある事を覚えてほしいものです。